

〈研究ノート〉

熊本県におけるひとり親世帯に関する研究

— 10代出産母子世帯の母親と20代以上出産
母子世帯の母親の比較を中心に —

出 川 聖尚子

要 約

本研究は、熊本県の3市で実施した「ひとり親アンケート」調査を10代出産母子世帯の母親と20代以上出産母子世帯の母親とをクロス分析したものである。

ひとり親アンケートは、現在・第一子出産の頃、小学生の頃の各時期にわけ、暮らしの状況、心配ごとや頼れるひとなどの項目を聞いた。今回の調査分析から、10代出産母子世帯の母親と20代以上出産母子世帯の母親ともに経済的な悩みを抱え、約半数が家族や子ども、職場でのつらい思いをしている結果となった。現在の生活、出産時、小学生の頃についてどの項目においても10代出産母子世帯の母親と20代以上出産母子世帯の母親は同様の傾向で、出産年代による著しい違いは見られなかった。

1. はじめに

全国の母子世帯数は1,062,702世帯ⁱ⁾で、児童扶養手当を受給している母子世帯は886,979世帯ⁱⁱ⁾である。熊本県において、母子世帯は19,098世帯で、熊本県全世帯の総数(702,565世帯)からみた母子世帯の出現率は2.7%となっているⁱⁱⁱ⁾。

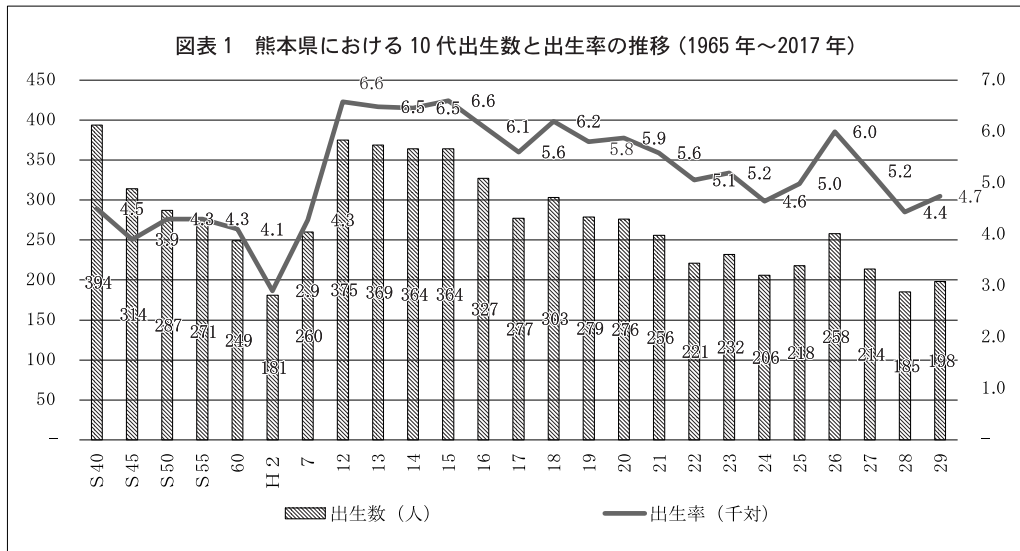
日本における子どもの貧困率は13.9%で、なかでも、おとながひとりの世帯の場合の子どもの貧困率は50.8%であり、ひとり親家庭の子どもの2人に1人が貧困状況にある(2015年)^{iv)}。熊本県においてもひとり親世帯の貧困率は43.8%(2017年)^{v)}で、ひとり親世帯は深刻な経済的な問題を抱えている。

日本では、出生数のうち嫡出子が97.8%^{vi)}であることから、出産するときには結婚をしている場合が多く、その後ひとり親となり、子育ての環境が変わるという状況にある。なかでも、有配偶女性の年齢別出生率を見ると、10代の有配偶者女性は793.4‰で、他の年代に比べて最も高く^{vii)}、その一方10代の有配偶者女性は、他の年代に比べて最も離婚する割合が高いという状況にある^{viii)}。

現在、わが国における10代の出産は、2017年で年間9,898件、出生数(946,065人)に占める割合の1.04%である。熊本県において10代の出産は、2017年で年間198件、熊本県全体の出生数

(14,657人)に占める割合の1.35%である^{ix)}。高校卒業後の進学等の拡大、結婚年齢・出産年齢の上昇が過去50年余り続いていても、10代出産は出生1,000人あたり4~6人台を推移している(図表1)。若年の妊娠出産は、児童虐待の死亡事例報告においてリスク要因として挙げられている。

本稿では、2017年に沖縄県と熊本県でおこなった「ひとり親アンケート」のうちの熊本県の「ひとり親アンケート」を用い、「若年妊娠・出産」と「母子世帯」というリスク要因をあわせ持った「10代出産母子世帯の母親」と「20代以上出産母子世帯の母親」とでクロス分析を行った。出産年代によって抱えている状況は異なるのかを明らかにし、今後の支援の充実に活かしていくことを目的とする。



熊本県平成29年度人口動態統計調査報告第2部統計編より筆者が作成

2. 研究方法

(1) 調査の趣旨・目的

子どもの将来のために必要な子育て環境を確保するため、ひとり親世帯がどのような思いで暮らしているのか、また暮らしていたのかを把握し、過去から現在までの課題を把握することで、今後の方策の検討の基礎資料とする。

(2) 調査対象

アンケート調査の対象者は、熊本県3市に居住する児童扶養手当受給資格者である。そのうち、本研究対象者は、母子世帯である。アンケート調査の回答者のうち、第1子を10代で出産した母子世帯は97名、20代以上で出産した母子世帯は829名である。

(3) 調査方法

- A 市 児童扶養手当関係担当課 窓口配布・回収
 B 市 児童扶養手当関係担当課 窓口配布・回収
 C 市 郵送による配布・回収（児童扶養手当受給資格者から無作為抽出）

(4) 調査期間

2017年8月1日～ 2017年9月30日 ＊ただし、2017年11月30日までに回収された調査票を有効回収票として扱い集計・分析を行った。

(5) 回収結果

	配布数	回収数	回収率	10代出産母子世帯 /母子世帯	母子世帯に占める10代 出産母子世帯の割合
A 市	446	395	88.6%	34/340	10.0%
B 市	634	462	72.8%	46/401	11.5%
C 市	600	193	32.1%	17/185	9.2%
計	1633	1050	64.3%	97/926	10.5%

(6) 調査内容

- 現在の状況（生活の気持ちの余裕、生活満足度、心配事、相談相手）、
- 第一子出産時の状況（心配事、相談相手など）、
- 小学生の頃の状況（心配事、相談相手、地域とのかかわりなど）、
- 本人の属性など4項目について質問している。

(7) 倫理的配慮

アンケート調査に目的と答えたくない質問には答えなくてもいい旨を記載した。アンケート調査の実施方法、内容等にあたっては、「熊本学園大学『人を対象とする研究』に関する倫理委員会研究活動適正化委員会」に審査を申請し、許可を受けている（平成29年7月10日）。アンケート回答者について記名はせず、得られたデータについても、個人が特定できない形で使用している。

3. アンケート結果

以下の調査結果は、ひとり親世帯へのアンケートの中の、母子世帯の結果をまとめている。今回は、出産時期によって違いがあるのか、10代出産母子世帯の母親と20代以上出産母子世帯の母親とを分けてクロス集計した結果である。

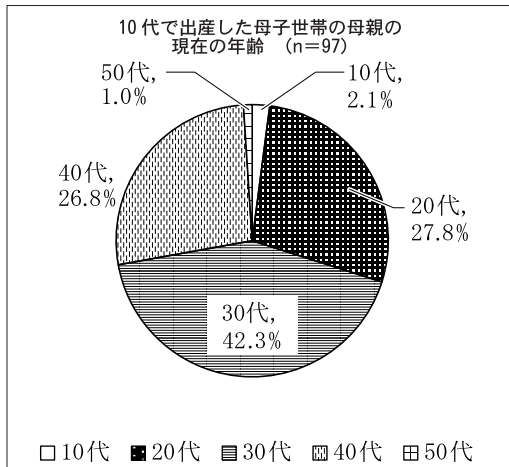
① 基本的属性

熊本県3市に住むひとり親世帯等1,050名で、本調査の回答者全体の母子世帯の占める割合は、88.2%であった。平均年齢38.4歳である。

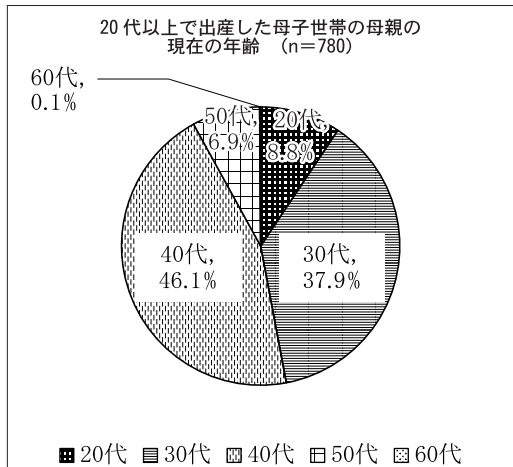
10代出産母子世帯の母親は、母子世帯882名中の11.0%を占める。10代出産母子世帯の母親の現在の年齢は、10代2名、20代27名、30代41名、40代26名、50代1名で、30代が最も多く、次いで20代、40代となっている。平均年齢は34.7歳である。

20代以上出産母子世帯の母親は、母子世帯882名中の89.0%を占める。20代以上出産母子世帯の母親の現在の年齢は、20代76名、30代306名、40代365名、50代64名、60代1名で、40代が最も多く、次いで30代、20代となっている。平均40.0歳である。10代出産母子世帯の母親のほうが、20代以上出産母子世帯の母よりも5.3歳若い。(図表2・3・4)

図表2 10代出産母子世帯の母親の現在の年齢



図表3 20代以上出産母子世帯の母親の現在の年齢

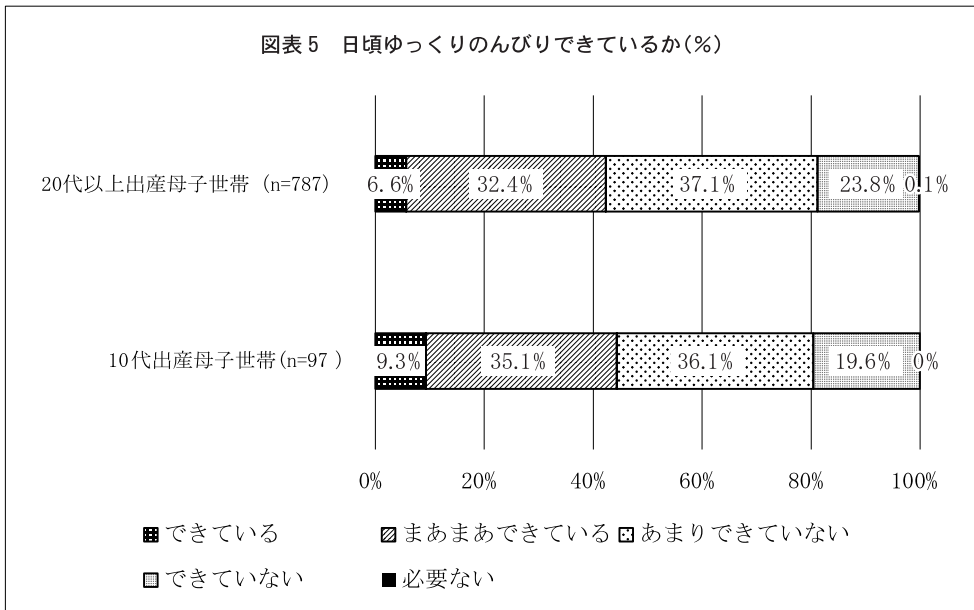


図表4 母子世帯の第一子の出産年齢(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	小計	無回答	計(人)
A市	34	229	53	3	2	321	19	340
B市	46	277	50	4	2	379	22	401
C市	17	117	46	1	1	182	3	185
計	97	623	149	8	5	882	168	1050

②「ゆっくりできているか」

日常生活の中で、ゆっくりのんびりできているかと聞いた。10代出産母子世帯の母親で「できている」、「まあまあできている」と回答したのは44.4%、「あまりできていない」、「できていない」という回答は55.7%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「できている」、「まあまあできている」と回答したのは39.0%で、「あまりできていない」、「できていない」という回答は60.9%である。10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親も半数以上が日頃ゆっくりのんびりできていないと答えている(図表5)。



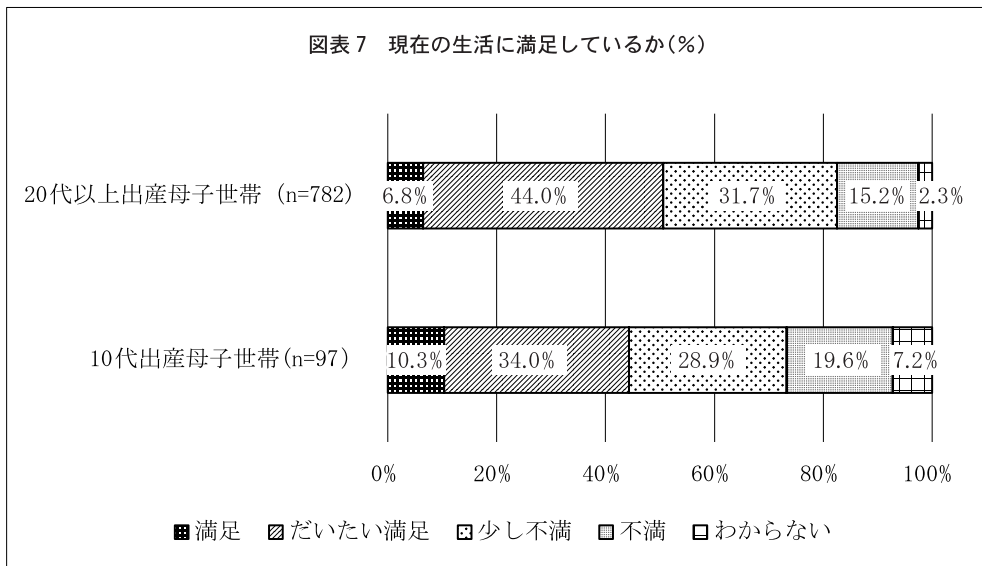
ゆっくりできていない理由として、10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親ともに、「時間がない」が7割、次いで、「気持ちのゆとりがない」が3割強回答している。その他の自由記述には、20代以上出産母子世帯の母親から18名の回答があった。「家が狭いこと」、「家のこと」、「震災後からの介護」、「仮設での暮らし」、「家族の体調」、「親の病気」、「子どものこと」、「子ども不登校」、「子どもの登校渋り」、「自分の老後」、「借金」、「介護」などが記入されていた。(図表6)

表6 ゆっくりできていない理由

	ゆっくりできていない理由			
	10代出産母子世帯の母親 (n=54)		20代以上出産母子世帯の母親 (n=498)	
	人	%	人	%
時間がない	40	74.1	387	77.2
場所がない	3	5.6	37	7.4
気持ちのゆとりがない	20	37.0	185	36.9

③ 「満足できているか」

日常生活の中で、現在の生活に満足しているかと聞いた。10代出産母子世帯の母親で「満足している」、「だいたい満足している」と回答したのは44.3%で、「少し不満」、「不満」48.4%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「満足している」、「だいたい満足している」と回答したのは50.8%で、「少し不満」、「不満」46.9%である。「不満」と回答した10代出産母子世帯の母親は19.6%、20代以上出産母子世帯の母親は15.2%いる。(図表7)

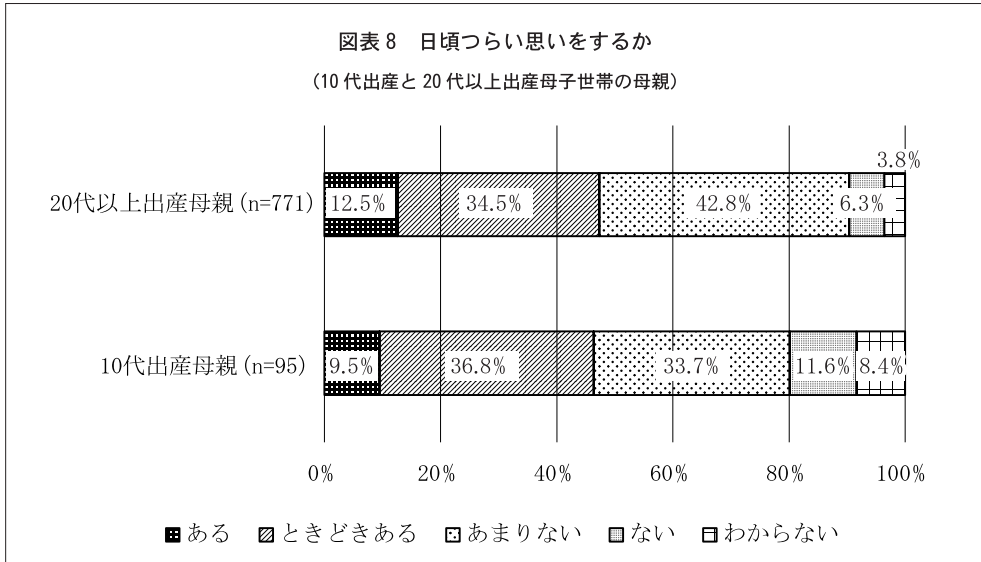


④ 「日常生活の中でつらいことがあるか」

日常生活の中で、つらいことがあるか聞いた。10代出産母子世帯の母で「ある」、「ときどきある」と回答した人は45.4%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「ある」、「ときどきある」と回答したのは45.8%である。

10代出産母子世帯の母で「あまりない」、「ない」と回答した人は44.3%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「あまりない」、「ない」と回答した人は47.5%である。日常生活でつらい思いをすることが「ある」と回答した人が10代出産母子世帯の母親(9.3%)、20代以上出産母子世帯の母親(12.2%)ともに1割程度いる。(図表8)

つらい思いをするのは、「家族・親戚等」、「子ども」、「知人・友人」、「仕事関係」、「周囲」などからで、具体的には、つらい言葉をかけられる、人間関係、置かれている境遇などがある(図表9)。



図表 9 つらい思い(誰から どんなこと) 自由記述 * 10代出産母子世帯の回答

誰から	どんなこと
<p>【家族・親戚等】 両親・母親・親・父・父親・実母、おば / 家族 / 親族 / 実父 / 母 / 兄 / 娘 / 夫婦 / 家 / 身内 / 孫 / 母 / 自分の親兄弟 / 実母、次男 / 実の母 / 姉妹 / 1人暮らしのおば</p>	<p>家庭内の不和 / 母子家庭だからといわれるとき / 子育てと仕事が両立できないこと / 子供を預けるとき「たまには、子供との時間を大切にしろ」といわれる / 人格否定されたり、何かにつけて文句を言われる等 / 日常生活 / いろいろと / 弟と親の関係 / 経済的 / 「ちゃんとする」ということ / さいなこと / 親戚などの付き合い / 体の不自由な家族の世話 / 子育てについて / 私の娘に対する子育てでイライラさせられる / 子供の将来について聞かれたとき / 自分たちの生活について文句を言われる / ケンカ / 地震により兄弟関係が悪くなった / 人間関係 / 言葉の暴力 / 親ならと文句を言われる / 子供の育て方の違い / 自己中心で思いやりがい / 親になりきれていないといわれる / お金取られる / 祖父母の世話 / 理不尽なことをいわれたり、されたり、振り回される / 認知症の母の介護 / 子育てのこと経済的独立ができないことへの言葉 / 実母と次男が仲が悪い / 疎遠 / 妹との関係</p>
<p>【子ども】 子供 / 長男 / 娘 / 長女</p>	<p>お父さんがほしいといわれる / 発達障害について / 反抗期、仕事 / 子供が反抗期、介護 / 不登校 / 仕事で忙しいので、かまっていられない / いろいろ / 夜勤に出るとき嫌がり泣くこと / 学校関係のこと / お金、人間関係 / 言うことを聞いてくれない時 / 登校拒否 / 仕事や生活の事を話すとき / いうことを聞かない、学校へ行こうとしない / 今後の進路とか / 父親のことを聞かれるとき / 言うことを聞かない / 両親がいるところと比べられる / いろいろと / 反抗期 / 子育て / お父さんのことを聞かれる不安になる / 関わり方がわからなくなる / 反抗期 / よくもめる / 学校に行かない / 無理や我慢を隠しているのが分かったとき / 時間 [自分の] が無いこと / 経済的なこと / お金がかかることを必要以上に我慢しようとする / パパがいなくてさびしい思いをさせていると感じたとき / 一緒にいたいのに、仕事で時間が少ない / 経済的なことを言われたとき / 障害 [知的] があり暴れる生活態度 / 精神的に浮き沈みパニック / 心無い言葉 / 生活時間が定まらない / 子供が病気のとくに仕事に行くのがつらい / きれられる。 / 金銭的なことで我慢させるとき / ひきこもりのため / 学校に行かない、遊びに行かない、つらいというより心配 / 子育てはこれでいいのかとか、普通のことでもたまに悩みます / 子供も不登校</p>

<p>【友人知人】 友達 / ママ友 / 知人、友人 / ママ友達 / 知人 / 子供の友達から / 保護者の方から / 小学校の保護者 / 保育園の先生 / 部活の保護者 / 小学校の保護者 / 近所の方 / 便りたい人</p>	<p>母子家庭だからといわれるとき / 経済的な話のときなど / 人間関係 / 嫌だと思っていることを言われる / お金 / 小学校関係、子供同士のトラブル / 傷つくことをいわれる / 子供が父親のことでいろいろきかれたり、言われたりしている / 子供のことで / 無口、無視 / 子どものできないことばかり問題視する / できるだけでよかよの建前の裏の意味は。。。 / 冷ややかな目、深く話はしてこない / 頼りたい時に連絡が取れないこと</p>
<p>【仕事関係】 職場で / 職場 / 上司 / 職場内の方 / 職場の人 / 仕事 / 仕事で / 仕事場の人 / 職場 / 職場での人間関係 / 会社 / 職場の上司 / 同僚 / 従業員 / 仕事関係 / 会社関係 / 会社関係の人 / 同僚 / 会社の人間関係 / 職場の人 / 職場の同僚 / 仕事の人 / 仕事関係の人 / 職場の周囲の人々</p>	<p>仕事に関して / 仕事のこと / 仕事 / 仕事上のことで / ささいなこと / 当たられる / 病気などで休むとき / 理不尽なこと / 休めない / 物の言い方考え方の違いなど / 仕事 / 言葉の暴力など、パワハラ / 人間関係 / パワハラ / 長時間労働 / 部下の指導育成について、職場の環境について / 転職 / 仕事のことや子供のことで / 嫌がらせ / 理不尽なことを言われたりする / 実家だから残業できるだろうと言われる / ストレス / 時間外の仕事が多く手当てがない / 仕事で失敗したときなど / 嫌味を言ってくる / 丸1日の休日がない。学校行事、世話をこなししている / 子供が病気の時でも途中で帰ることができない / 仕事で / 人間関係で / 営業なので色々 / 体質など理解されない / パワハラや暴言 / 無視、気分屋 / シングルマザーの権利ばかり主張する人とまじめにやっている人もどうせ一緒だろうと誤解さされる / 子供が病気をして休む時子供を見てもらわないといけなとき / 収入 / 色々 / いろんなこと / 陰口 / 重圧、プレッシャー / 仕事において男女差別</p>
<p>【自分】 自分 / 自分自身</p>	<p>お金、人間関係 / 病気をしても子育てをしないといけない / 気分的、精神的、肉体的 / 不甲斐なさにどうしていいかわからなくなる / 不甲斐ないとき</p>
<p>【周囲】 周囲の人 / 周り / 社会的に / 誰からとかではない / 誰からも / 他人 / 世間</p>	<p>全てをまかせられたり、責められること / ひとり親で馬鹿にされること / 時間がなくてこどもとゆっくりできない / 色々なこと / いろいろなこと / 仕事関係 / 性格の不一致なこと / 子供の将来のことを話すときに / シングルマザーを偏見のまなざしで見られること</p>
<p>【パートナー等】 元夫 / 前夫 / 元旦那 / 元旦那 / 交際相手 / 主人 / 夫の母</p>	<p>面会について / 経済的に / お金、支払 / お金のこと / DVを受けている / 連絡がくるとき / 苦情が来る</p>
<p>【誰から記入なし】</p>	<p>【経済的】 経済的 / 経済的なこと / 金銭面 / 金銭的に余裕がないこと / 月々の支払いが多すぎて / 経済的に苦しい / 金銭的な面 / / 経済的に習い事などを通わせてあげられない事。時間的にゆとりがない事 / 自分の体調があまりよくないが働かないと子供を育てるにあたって必要なお金が少なくなるから。 / 経済的なことで子供の洋服などを買うのを我慢することが多い / 経済的に余裕がない時 / 頑張って働いているのにお金が…。手当も働いていない人は全額もらえるのにがんばって働いている人はもらえない / 生活する分しかなく、子供の将来や自分の将来のための貯金ができない / 経済的な悩み / 経済的に1人でれる仕事がいっぱいいっぱいだから / お金がなくて常に考えているのがきつい / 給料が以前より減ったこと / 経済的に苦しい。病院にいけない。中高生にこずかいがやれない。食事がまともにとれない / 金銭的なこと / / 生活を支えていかななくてはいけないと深く思う / 経済的な不安 / 経済的なこと / 旅行等があまりできない。経済的にも、体力的にも / 経済的な面で / 給料が安い</p>

【誰から記入なし】

【体調面】

体調 / 体調が悪い時、この先仕事ややっていけるかどうかかなやむ / 体調不良の時 / 病気になったとき（自分が） / 年齢のことで自分の体のこと / 体力 / 自分の病気が悪化。など / 病気のこと / 体調がすぐれないこと / 持病があるためつらい / **健康の事**

【仕事】

仕事に関して / 仕事が好きとき / 仕事のこと / 仕事 / 仕事関係 / 仕事で休みが取れない / 仕事忙しい / 仕事で嫌なおもいをするとき / 仕事が終わらず、帰りが遅くなるととき / 職場 / 仕事の間関係 / 仕事上 / タクシードライバーなのでお客様からの文句など / 契約社員なのに総合職並みの仕事の責任 / 仕事が好き / 職場でのトラブル / 仕事面 / 仕事でセクハラ、ストーカー、嫌味を言われる / 仕事の悩み / 仕事やうまく行かない / 体力的に仕事の量がつらい

【子ども関係】

子供が父親がいなくてつらい思いをしているとき / **子育て、下の男の子がうそをつくこと** / 仕事で忙しく子供たちとの時間が取れない、子供たちに不安や負担を感じさせているだろうと思うとき / 子供の食事 / ひとり親なので子供のこと / 子供の発達について / 子供の体調が悪いから / 子供のこととかで、悩みすぎておちる / 子供の行事等で / 子育てうまくできているのかな、。と / 子供の不登校 / 子供の学校行事にいけない時 / 長男の発達障害 / 子供の進学について考えているとき / 子育てに不安 / 子育て / 成人している息子が東京にいてなかなか会えないこと / 子供の事 / 子供の学費がかかる。給付型奨学金を増やしてほしい。返済型だと子供の負担が大きい。 / 一人での子育てについて不安になる / 子供のストレスで子にあたる / 息子の学校で先輩や学校の先生の指導について / 子供が成長して将来さびしくなると思う / 子育てのこと / 育児

【将来】

将来のことを考えると / 将来のこと / 孫の未来 / 自分自身の将来 / 将来のことを考えると不安

【時間】

時間が取れない / 子供とのかかわりの中でひとりなる時間がほとんどない / **仕事ばかりで子供との時間があまりないので** / 子供と一緒にいる時間が少ない / 仕事を頑張ると、その分子供の時間が無くなること / 自分の時間が取れない時、 / 日々の生活 / 時間の余裕がないとき

【生活】

家事、育児との両立 / 仕事で疲れていても、家事をしなければならないから / 自分が学生のため実習中、家事もこなすのがたまに大変と思う / 家事と仕事の両立 / 仕事、家庭の両立 / 家事が休めない / 生活 / **体調不良でも仕事も家事も休めない**

【人間関係】

人間関係のこと / 子供の保育園でのお友達との関係 / 実家との家族との付き合い / **人間関係** / 家族の事についてなど

【頼る人】

頼る人がいない / 子育てで考えるときに、主人がいればと思う / 頼れないとき / 気軽に相談できる人がいない / 1人親で手が足りないとき

【その他】

以前のことを思い出して / 夫が亡くなったことをたまに思い出す / シングルということ / 色々 / 私の親がいないので盆正月帰省するところがなく親戚の集まりに行く経験をさせてあげられないことでそういう時期は申し訳なくつらくなる / 精神的な面 / 家族の入院 / 今の自分の境遇

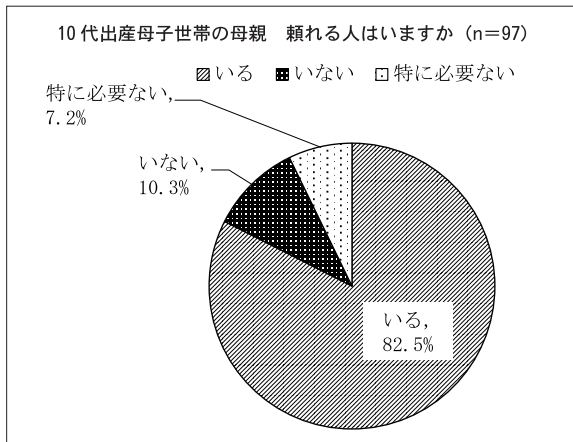
⑤ 頼れる存在

まわりに頼れる人がいるか聞いた。10代出産母子世帯の母親で「いる」と回答した人は82.5%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「いる」と回答したのは83.2%である。(図表10・11)

頼る人が「いない」と回答した人は、10代出産母子世帯の母親(10.3%)、20代以上出産母子世帯の母親(12.7%)でともに、1割程度いる。

頼れる人として挙げられたのは、10代出産母子世帯の母は、「母親」(58.8%)、「友人」(46.4%)、「父親」(27.8%)であった。20代以上出産母子世帯の母は、「母親」(61.9%)、「友人」(40.2%)、「兄弟姉妹」(36.1%)であった。(図表10)

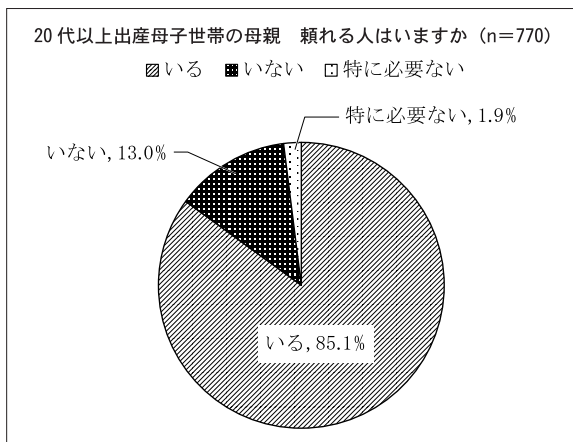
図表10 10代出産母子世帯の母親 頼れる人はいるか



頼れる人の内訳

父親	27人 (27.8%)
母親	57人 (58.8%)
姉妹兄弟	22人 (22.7%)
祖父母	9人 (9.3%)
その他親戚の人	5人 (5.1%)
友人	45人 (46.4%)
近所の人	4人 (4.1%)
パートナー	3人 (3.1%)
相談機関の人	0人
その他	2人 (2.1%)

図表11 20代以上出産母子世帯の母親 頼れる人はいるか

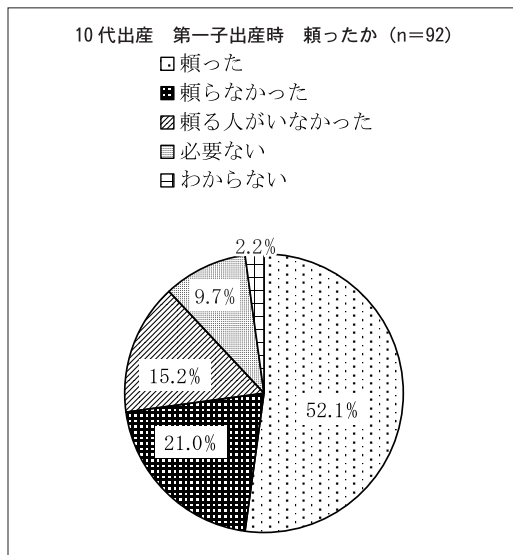


頼れる人の内訳

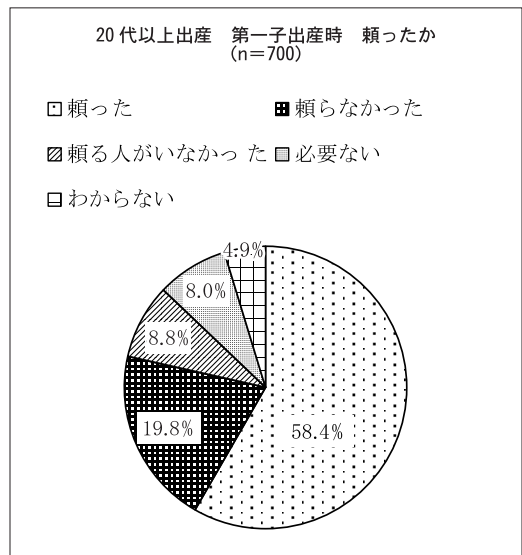
父親	280人 (34.7%)
母親	499人 (61.9%)
姉妹兄弟	291人 (36.1%)
祖父母	60人 (7.4%)
その他親戚の人	47人 (5.8%)
友人	324人 (40.2%)
近所の人	31人 (3.8%)
パートナー	15人 (1.9%)
相談機関の人	11人 (1.4%)
その他	32人 (4.0%)

第一子を出産した頃、心配ごとを誰かに頼ったか聞いた。10代出産母子世帯の母親で「頼った」と回答した人は52.1%である。20代以上出産母子世帯の母親で「頼った」と回答したのは58.4%である。10代出産母子世帯の母親で「頼らなかった」と回答した10代出産母子世帯の母親は21.0%、20代以上出産母子世帯の母親は19.8%であった。「必要なかった」と回答した10代出産母子世帯の母親は9.7%、20代以上出産母子世帯の母親は8.8%であった。「頼る人がいなかった」と回答した10代出産母子世帯の母親は15.2%、20代以上出産母子世帯の母親は8.8%で、1割程度いる。（図表12・13）

図表 12 10代出産母子世帯 第一子出産のとき頼ったか



図表 13 20代以上出産母子世帯 第一子出産のとき頼ったか



⑥ 現在と第一子出産時の心配ごとについて

現在および第一子を出産した頃の心配ごとを聞いた。

10代出産母子世帯の母親において、第一子出産した頃の心配ごとは、「子育て」(53.6%)、「経済的なこと」(51.5%)、「子どもの将来」(18.6%)、「パートナーのこと」(15.5%)、「仕事」(11.3%)、「自分の将来」・「家事」(6.2%)、「自分の育った家族との関係」(4.1%)、「自分の体調」(3.1%)、「人間関係」(2.1%)であった。その他には1名が「友達がたくさんいるか」と記入されていた。

また、10代出産母子世帯の母親の現在の心配ごとは、「経済的なこと」(75.3%)、「子どもの将来」(42.3%)、「仕事」(26.8%)、「子育て」(26.8%)、「自分の体調」(15.5%)、「自分の将来」(10.3%)・「家事」(6.2%)、「自分の育った家族との関係」・「人間関係」(5.2%)、「パートナーのこと」(0%)であった。

10代出産母子世帯の母親において、第一子出産の頃と現在を比べて割合が増えた項目は、「経済的な問題」、「子どもの将来」、「仕事」、「自分の将来」、「自分の体調」、「自分の育った家族との関係」、「人間関係」の7項目で、一方減った項目は「子育て」、「パートナーとの関係」の2項目であった。

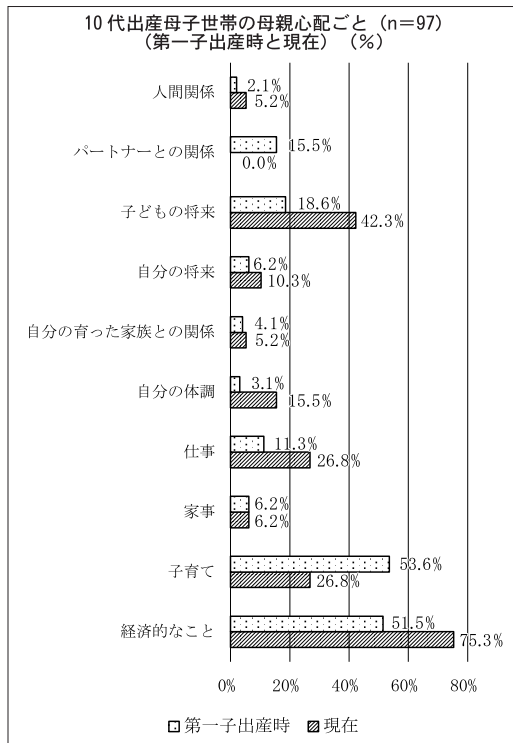
20代以上出産母子世帯の母親において、第一子出産した頃の心配ごとは、「子育て」(51.7%)、「経済的なこと」(41.8%)、「パートナーのこと」(17.2%)、「子どもの将来」(16.5%)、「仕事」(15.1%)、「家事」(10.4%)「自分の体調」(7.2%)、「自分の将来」(7.0%)、「人間関係」(5.3%)「自分の育った家族との関係」(3.7%)、であった。その他の自由記述には17名が義父母やその家族との関係、子どもの健康状態、新生活、パートナーのことなどについて回答していた。

また、現在の心配ごとは、「経済的なこと」(75.0%)、「子どもの将来」(48.9%)、「子育て」(29.6%)、「仕事」(29.1%)、「自分の体調」(25.1%)、「自分の将来」(22.5%)、「人間関係」(7.6%)、「家事」(7.2%)、「自分の育った家族との関係」(6.9%)、「パートナーのこと」(0.6%)であった。その他の自由記述には16名が義父母やその子ども、住まい、家族、自分などについて回答していた。

20代以上出産母子世帯の母親において、第一子出産の頃と現在を比べて割合が増えた項目は、「経済的な問題」、「子どもの将来」、「仕事」、「自分の将来」、「自分の体調」、「自分の育った家族との関係」、「人間関係」の7項目で、一方減った項目は「子育て」、「家事」、「パートナーとの関係」の3項目であった。

10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親ともに現在、7割以上が経済的なことを心配している。第一子出産の頃と現在を比べて心配ごとが増加し、増加している項目も同じ項目である。(図表14・15・16)

図表 14 10代出産母子世帯の母親心配ごと (第一子出産のときと現在)



図表 15 20代以上出産母子世帯の母親心配ごと (第一子出産のときと現在)

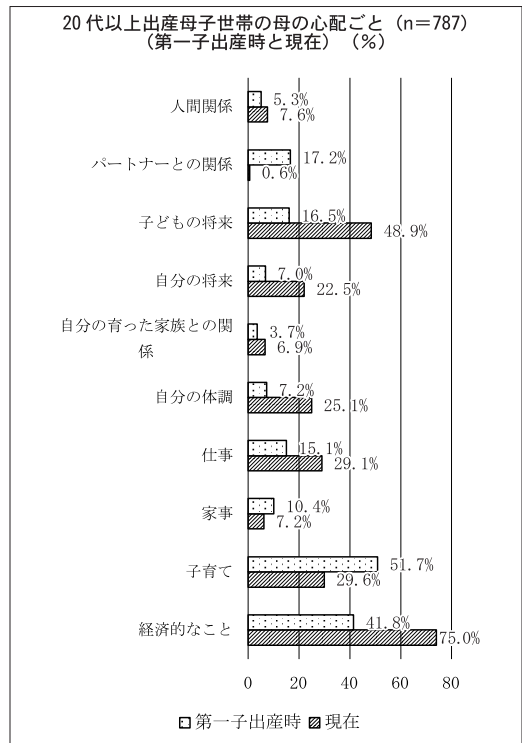


表 16 20代以上出産母子世帯の心配ごと（自由記述）

第一子出産の頃	現在
<p>【義父母やその家族との関係】パートナーの家族との関係/義家族との関係/義父母/義理父母、妹との同居/同居家族との関係/同居姑との関係/同居先の義父母</p> <p>【子ども】育児ができるか心配していた/子供の健康状態</p> <p>【新生活】県外での生活/生まれ育った土地ではないので、知っている人もいなくて、言葉も分からなかった。/生活環境</p> <p>【パートナー等】そのときの旦那が仕事をしていたので/結婚できるか/パートナーの仕事/夫が子供に暴力を振るわないか</p>	<p>【子ども】子供が親というものを理解するとき/子供のこと/子供の登校しぶり/子供の不登校</p> <p>【住まい】家が狭いこと/家のこと/次の住まい、今は仮設住宅なので</p> <p>【家族】父の病気/母の病気/親の体調/震災後からの介護/家族の体調</p> <p>【自分】自分の老後/借金がある/年金など/</p>

⑦ 出産であきらめたこと

出産であきらめたことがあるか聞いた。10代出産母子世帯の母親で、「ある」と回答した人は28.8%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「ある」と回答したのは28.0%である。あきらめたことが「ない」と回答した10代出産母子世帯の母親は71.1%、20代以上出産母子世帯の母親は72.0%であった。（図表17）

表 17 出産であきらめたこと

出産であきらめたこと	10代出産母子世帯の母親		20代以上出産母子世帯の母親	
	人	%	人	%
ある	26	28.8	222	28.0
なし	64	71.1	571	72.0

出産であきらめたことについて10代出産母子世帯の母親は22名、20代以上出産母子世帯の母は196名記述があった。出産であきらめた内容として、具体的には、「仕事」、「学校・勉強」、「時間」、「好きな事」、「つきあい」、「経済的なこと」などがある。（図表18）

表 18 出産であきらめたこと（自由記述）

* 10代出産母子世帯の回答

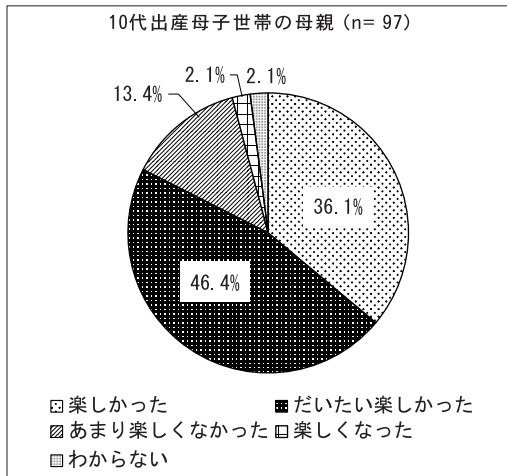
【将来】	
仕事	<p>そのときの仕事/なりたい職に就けなかった/サービス業につくこと〔平日、18:00までぐらいの正社員でないと難しいと考えたため〕/経営していた店を辞めた/好きなだけ働くこと/やりたかった仕事/仕事/仕事、育休のあと、保育園がなく、退職することになった。/仕事での昇進/仕事で出張などできなくなってきたので、役職から降りた。/仕事のこと/仕事のスキルアップ/仕事の昇進/仕事の職種を変更した/当時は産休や育児休暇などは取れない時代だったので/仕事の役/仕事の両立、子育ての手抜き/仕事や夜間の1人の外出/仕事をすること。外に出る仕事を続けること/仕事を失った/仕事上いろんなこと多々あり/仕事内容、キャリア、仕事の間人関係/仕事面/自分のやりたかった仕事/出産前にしていた仕事を続けること/職業をやめた/自分の夢だった仕事につくこと/仕事でのキャリアアップはできなくなった/自分が望む仕事/正社員になること。残業すること/したい仕事を選ばなかった</p>

学校・勉強	看護学校を中退した / 教員採用試験 / 県外の看護学校に行く予定だった / 今の職業の勉強 / 資格 / 資格を取りたかった / 資格を取りに行きたかった / 資格取得〔専門学校〕 / 進学をあきらめた / 学校 / 学校に通うこと / いろいろな資格を取る / になりたい職業になるための学校進学 / になりたい職につくための勉強や時間をあきらめた / 専門学校 / 専門学校進学 / 大学 / 大学復帰 / 大学を辞めた
その他	海外留学 / 海外留学、海外旅行 / やりたいこと / やりたい事をあきらめた / やりたかったことをやらない選択をした / 一人暮らし、親元を離れて独立して暮らすこと / 自分がやりたいこと / 自分の将来 / 自分の人生 / 自分の夢新たなチャレンジをすることをあきらめ、パート勤めになった / 開業 / 自分が望む夢 / 自分のやりたいこと / 夢
【生活】	
時間	1人の時間の減少 / 時間 / 趣味などの息抜きの時間 / 自分の好きなことをする時間がなくなりました / 自分のための時間 / 自分の時間〔趣味など〕 / 自分の自由な時間 / 自分の自由な時間ややりたいこと / 自分の自由な時間や趣味 / 自分の趣味の時間 / 自分の自由時間 / 自分のために使う時間 / 自分の時間
好きな事	趣味 / 趣味を持つこと / 自分の楽しみ / 自分の楽しみ、幸せ等をあきらめた / 自分自身のこと / 自分がしたいこと / 遊び / 旅行 / 旅行や美容 / 自分自身のこと
自由	完全なる自由 自分勝手にできなくなった。でも後悔はしていないから大丈夫 / 好きなことをすること / 自分の自由 / 自分の趣味や余暇 / 自由な行動 / 自由な時間 / 自由な時間、趣味 / 自由に過ごす時間 / 自分の自由時間、使えるお金〔なくても平気になった〕 / 自分の自由な時間や物に対して / 自由
つきあい	20代になったばかりなので、友達との交遊を控えた / パートナーとの距離 / 近くに友人知人がいないので、いろんな人とかわりをもつこと / 元夫の両親と夫に対して / 自身の交友関係 / 女友達と出かけたりすること / 友人との交流 / 友人との付き合い / 友人関係など / 友達との付き合い / 友達との遊びなど
経済的なこと	経済的な余裕や自分の時間 / 自分にかかる洋服代や美容室など。離婚してからは大丈夫です / 自分のためにお金を使うこと / 自分のために使うお金 / 経済面 / 転職をしたくても、少しの間でも経済的に不安定になることが怖くて踏み切れない / 買いたいものがかえなくなった / 自分にお金をかけること / 自由なお金 / 友人知人との会食や乗りたい車を変えない。会社などの飲み会など。でも苦になっていない少しずつできているから。
【その他】	いつまでもお姉さんを気取ること / 一生男性は信じない / 一般的にみんな同じではないでしょうか / 1度だけうつみたいになり、何もかも嫌になった / いうことを聞かない、反発など、思うようにいかず、こどもを理解してあげなかった / すべてのことで / 自分のことすべて / 色んなことが思うようにならない事 / 自分のことは後回しにする。〔ほしいものは買わないなど〕 / 自分自身を優先しなくなった / 色々あります / 色々 / 体調 / 当時力をいれてがんばっていた事 / 死のうと何回も考えた / 離婚してからはなくなりました。子供と一緒に目標を持って生活しています / 子供の父親との生活 / 子供をすべて優先に考える / 自分の生活スタイル

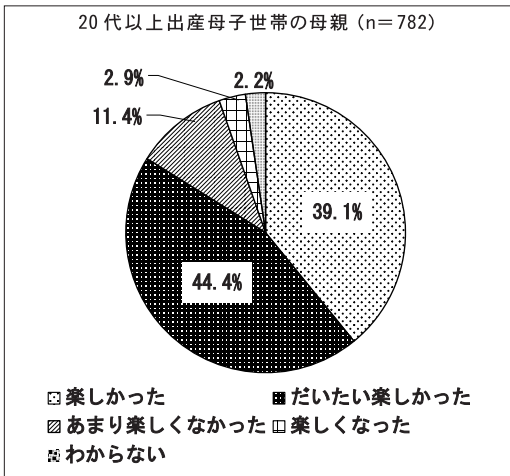
⑧ 小学生の頃楽しかったか。

小学生の頃、楽しかったか聞いた。10代出産母子世帯の母親で「楽しかった」、「だいたい楽しかった」と回答したのは82.5%で、「あまり楽しくなかった」、「楽しくなかった」は15.5%である。20代以上出産母子世帯の母親で、「楽しかった」、「だいたい楽しかった」と回答したのは83.5%で、「あまり楽しくなかった」、「楽しくなかった」は14.3%である。「楽しくなかった」と回答した10代出産母子世帯の母親は2.1%、20代以上出産母子世帯の母親は2.9%であった。(図表19・20)

図表 19 小学生の頃楽しかったか(10代出産母子世帯の母親)



図表 20 小学生の頃楽しかったか(20代以上出産母子世帯の母親)

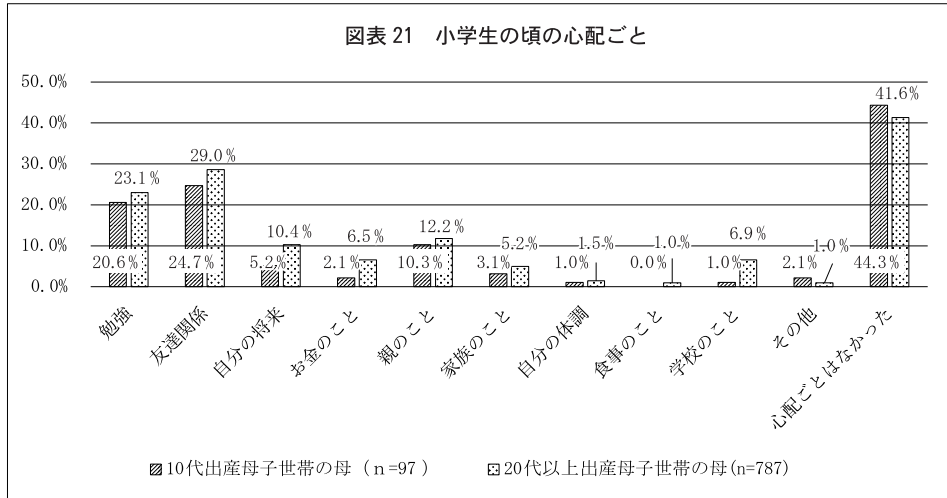


⑨ 小学生の頃の心配ごと

10代出産母子世帯の母親において、小学生の頃の心配ごとは、「友達関係」(24.7%)、「勉強」(20.6%)、「親のこと」(10.3%)、「自分の将来」(5.2%)、「家族のこと」(3.1%)、「お金のこと」・「その他」(2.1%)、「自分の体調」(1.4%)、「学校のこと」(1.0%)であった。20代以上の出産母子世帯の母親において、小学生の頃の心配ごとは、「友達関係」(29.0%)、「勉強」(23.1%)、「親のこと」(12.2%)、「自分の将来」(10.4%)、「学校のこと」(6.9%)、「お金のこと」(6.5%)、「家族のこと」(5.2%)、「自分の体調」(1.5%)、「食事のこと」・「その他」(1.0%)、であった。

その他では、10代出産母子世帯の母親は、2名記述があり「部活」「覚えていない」と記入されていた。20代以上出産母子世帯の母親は8名記述があり、「いじめられていることが家族に知られていないか心配であった」、「学校の先生からの…」「先生が嫌いだった」、「部活」など学校のことや「人生全てにおいて」、「覚えていない」が記入されていた。

10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親ともに4割以上が心配ごとはなかったと回答している。20代以上出産母子世帯のほうが10代出産母子世帯よりも、その他以外の心配ごとの項目で、割合が高い結果となった。(図表 21)

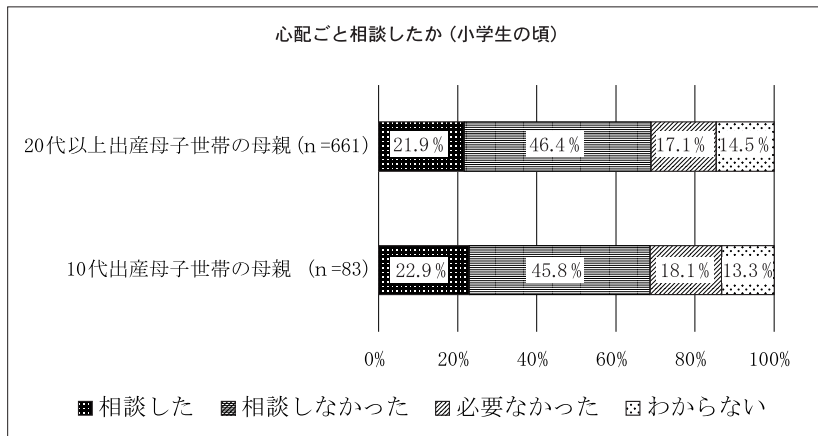


⑩ 小学生の頃の相談相手

小学生の頃心配ごとについて誰かに相談したか聞いた。

10代出産母子世帯の母親で「相談した」と回答した人は22.9%である。20代以上出産母子世帯の母親で「相談した」と回答したのは21.9%である。10代出産母子世帯の母親で「相談しなかった」と回答した人は10代出産母子世帯の母親(45.8%)、20代以上出産母子世帯の母親(46.4%)で、4割を超えていた。「必要なかった」と回答した人は、10代出産母子世帯の母親(18.1%)、20代以上出産母子世帯の母親(17.1%)であった。(図表22)

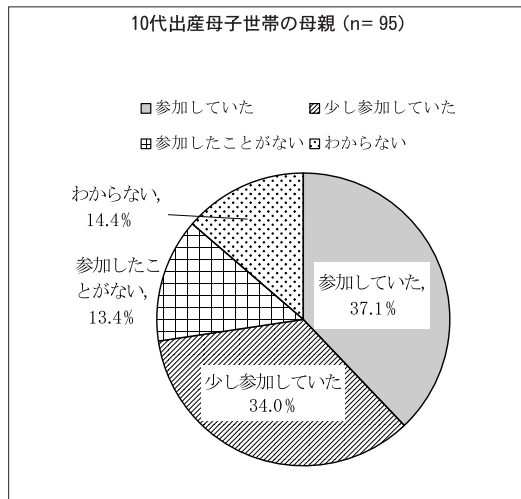
図表 22 小学生の頃相談したか



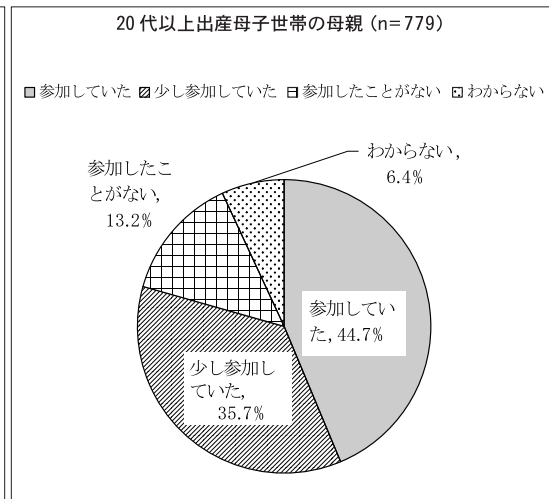
⑪ 小学生の頃の地域の行事の参加

小学生の頃、学校の行事以外で地域の子どもが参加できる行事の経験について聞いた。10代出産母子世帯の母親で「参加していた」、「少し参加していた」と回答したのは73.1%で、「参加したことがない」は13.4%である。20代以上出産の母子世帯の母親で、「参加していた」、「少し参加していた」と回答したのは80.4%で、「参加したことがない」は13.2%である。「わからない」と回答した10代出産母子世帯の母親は14.4%、20代以上出産母子世帯の母親は6.4%であった。（図表23・24）

図表 23 地域の行事の参加



図表 24 地域の行事の参加



4. 調査結果の概要と考察

① 現在の生活

日頃ゆっくりできていない母子世帯が10代出産、20代以上の出産にかかわりなく、半数いる。ゆっくりできていない人のうち7割が、時間がないという理由を挙げている。

現在の生活について、10代出産母子世帯の母親の約2割が、不満であると回答している。10代出産母子世帯の母親のほうが20代以上出産母子世帯の母親よりも不満に思っている割合が高い。

日常生活の中でつらいことを10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親ともに4割以上が経験している。具体的には、「家族」、「子ども」、「友人知人」、「仕事関係」、「パートナー」など日常的にかかわる人や、特定の人でない周囲、また自分自身のことから、つらい思いをしていた。また、そのつらい経験は、仕事や生活の中、経済的なこと、時間、体調、人間関係や子どものことなど心理的なことで起きていた。

頼れる存在について、10代出産母子世帯、20代以上出産母子世帯ともに8割以上がいる。10代出産母子世帯、20代以上出産母子世帯ともに6割程度が「母親」を頼れる人と回答している。20代以上の出産母子世帯の母親のほうが、10代出産母子世帯よりも自分の家族を頼りにしている人が多く

いた。頼れる存在について、10代出産母子世帯、20代以上出産母子世帯ともにいないと回答した人も1割程度いる。

心配ごとについて、10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親の7割以上が、「経済的なこと」を挙げている。第一子出産の頃よりも10代出産母子世帯の母親で2割以上、20代以上出産母子世帯の母親で3割以上が「経済的なこと」を心配ごととしている人が増加している。また、10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親の4割以上が、「子どもの将来」を心配ごととして挙げている。「子どもの将来」を心配ごととしている人が、第一子出産の頃よりも10代出産母子世帯の母親で2割以上、20代以上出産母子世帯の母親で3割以上が増加している。

② 第一子出産した頃の状況

第一子を出産した頃、10代出産母子世帯の母親は約5割、20代以上出産母子世帯の母親は6割弱が心配ごとに頼っている。10代出産母子世帯の母親と20代以上出産母子世帯の母親ともに、2割が頼らなかった。10代出産母子世帯の母親の15%が、頼る人がいなかったと回答し、20代以上出産母子世帯の9%よりも高い数字となっている。

10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親の5割以上が、「子育て」を心配ごとに挙げている。第一子出産の頃の頃と比べて現在では、10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親ともに2割以上が「子育て」の心配は減少している。一方、10代出産母子世帯の母親で約5割、20代以上出産母子世帯の母親で約4割が挙げていた、「経済的なこと」の心配ごとは、現在では増加している。

10代出産母子世帯の母親、20代以上出産母子世帯の母親ともに3割弱が出産してあきらめたことがある。具体的には、仕事や学校など将来のことが多く、出産が母親のキャリアを形成する上でハンディになっている状況がある。

③ 小学生の頃の状況

10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親の8割以上が、小学生の頃楽しかったと感じている。

10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親のともに2割以上が「友達関係」、「勉強」小学生の頃の心配ごとに挙げている。10代出産母子世帯の母親より20代以上出産母子世帯の母親のほうが、心配ごとに関する項目の割合が高い。

10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親のともに心配ごとを「相談した」割合よりも「相談しなかった」割合が20%以上高かった。

地域の行事の参加について、10代出産母子世帯の母親および20代以上出産母子世帯の母親の7割以上が、参加した経験を持っている。一方地域の行事に1割以上が参加したことがない。

おわりに

今回のひとり親家庭へのアンケートでは、10代出産母子世帯の母親と20代以上出産母子世帯の母親を比べて、大幅な違いを示す項目は見られなかった。10代出産母子世帯の母親は、虐待死や貧困のリスクをあわせ持つことから特定妊婦^{x)}と判断されるため、何か突出しているという状況が想定されるものの、平均年齢が34.6歳で、出産当時から20代、30代、40代になり出産後、一般母子世帯と問題が変わらなくなったとも考えられる。ただ、数量調査であるがゆえに全体の動向には見えない課題を抱えた深刻な状況も考えられるため、今後さらに、このアンケートの分析をすすめていきたいと考えている。

*本調査にご協力いただいた皆様、アンケートを配布に協力いただいた市の担当職員の方々に感謝申し上げます。

本研究は JSPS 科研 JP 16 K 04242 の助成を受けたものです。

注

- i) 他の世帯員がいる世帯を含む母子世帯数。他の世帯員を含まない母子世帯の数は、754,724世帯。平成27年国勢調査 世帯構造等基本集計（母子・父子世帯、親子の同居など）
<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003202982> 2019年10月2日アクセス
- ii) 厚生統計要覧（平成30年度）https://www.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyk_3_2.html 2019年10月2日アクセス
- iii) 平成27年国勢調査
- iv) 平成28年国民生活基礎調査 貧困率の状況 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/index.html> 2019年10月1日アクセス
- v) 熊本県子ども家庭福祉課『熊本県子どもの生活に関する実態調査 調査報告書』平成30年3月
https://www.pref.kumamoto.jp/common/UploadFileOutput.ashx?c_id=3&id=23021&sub_id=1&flid=139125 2019年10月1日アクセス
- vi) e-Stat 人口動態統計 <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003214686> 2019年10月1日アクセス
- vii) 有配偶者女性の年齢別（5歳階級）別出生率。2015年において、20～24歳345‰、25～29歳205‰、30～34歳148‰、35～39歳68‰、40～44歳17.2‰、45～49歳0.5‰、15～49歳の平均75.9‰となっている。
<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2019.asp?chap=4&title1=%87W%81D%8F%90%B%81E%89%C%91%B%0%8Cv%89%E6> 人口統計資料集 人口社会保障・人口問題研究所
- viii) 性、年齢（5歳階級）別有配偶者に対する離婚率において、2015年有配偶者に対する離婚率は10代女性が81.80‰で最も高い。次いで20～24歳51.19‰、25～29歳21.37‰、30～34歳13.61‰、35～39歳9.88‰、40～44歳7.55‰、45～49歳5.55‰、50～54歳3.37‰、55～59歳1.75‰、60～64歳1.03‰、65～69歳0.73‰、70歳以上0.34‰となっている。人口統計資料集 人口社会保障・人口問題研究所
<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2019.asp?chap=6&title1=%87Y%81D%8C%8B%8D%A5%81E%97%A3%8D%A5%81E%94z%8B%F4%8A%D6%8CW%95%CA%901%8C%FB>

ix) 熊本県平成 29 年度人口動態統計調査報告第 2 部統計編

https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_26391.html#shussho 2019 年 10 月 4 日アクセス

x) 特定妊婦とは、「出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦」（児童福祉法第 6 条 3）。平成 28 年 12 月に児童虐待対策の推進の「要支援児童等（特定妊婦を含む）の情報提供に係る 保健・医療・福祉・教育等の連携の一層の推進について」の通知文が出される。「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第 1 次～第 12 次報告）」において、心中以外の虐待による子どもの死亡事例が全体の約 4 割を 0 歳児が占めている。母親が妊娠期から支援者がいなくて孤立していること、産前産後の心身の不調があること、家庭において問題を抱えているなど考えられており、その問題を抱えやすい状況を持っているのが特定妊婦と考えられている。